

患者会・サロンへの参加・利用について感じたこと

【同じがん患者の方と話すことについて】

・患者会でお互いの「がん」に対しての、治療法、心の持ち方等を話し合うことができ、十人十色で大変勉強になりました。又これからのがんとの付き合い方等自分なりに学び、これからの生命を大切に、自分と他人を大切に身の丈に合った生き方をするのが自分にとって最善と、そしてがんになっても安心の中で生き抜く事ができる事を学びました。

・〈役に立ったこと〉がん闘病という辛い立場になり、同じ境遇にある仲間本当に励まされ助けられました。それまでの人生で優先してきたこと〈地位、名声、経済力 etc.〉が空しく感じられて、「普通に生きる貴さ」を学習しました。いわゆる価値観の逆転です。

・初回参加した時、すごく元気頂きました。ありがとうございました。

・いろいろな細かいことを同じガンの人には聞きやすいし、同じ症状だと安心します。常に転移・再発のことが頭に浮かぶ生活ですから、気晴しやおしゃべりをして発散することは大事だと思います。これからも積極的に参加していきたいです。

・サロンは時々しか行けませんが、話をする事でとてもストレスが緩和されます。

・患者が知りたい、勉強したい、ストレス解消したい事等々を題材にして頂き、とても役に立ちました。

・手術後、入院中にフラリと立ち寄り、体験者の方の体験を伺うことは、とても元気づけられた。前途に対する不安が軽くなった。

・私は母ががんで若くして亡くなったこともあり、がんに対しては恐怖であり、死・苦しみイメージしかありませんでした。でもサロンで同病を乗り越え、明るく、大丈夫ですヨ！と励まして下さる方々と話ができ、本当に心強かったです。がんも入院も経験済みの方々からの明るいお話が聞けることは、一番の葉でした。

・同じ体験をした人と話すことができたのは有意義でした。ただ、いろいろな病状の方がいますので、その点ではデリケートな部分もあったと思います。

・●●病院婦人科 がん患者会会員です。

OP 入院時、患者会のコーナーに良く行き、退院後入会しました。患者会の皆さんはがん患者だったことを感じさせない位明るく治療中～治療後のケアの講習会や親睦会、等々、幅広い活動をしていると思います。仙台住まいではないのであまり参加できませんが会報等にくわしく書かれており、又、季節の行事ごとに心なごむカード等の気遣いをしていただき、とても前向きになれています。

・日常生活ではなかなか「がんとうん治療によってできた不安」を共有する場がないため、患者会やサロンに行くだけでほっとできる。診断された直後は周囲の協力や理解も多かったが、時が経つにつれて、自立していかなければいけないが、後遺症等の不安は変わらずあるため、孤独を感じることも多いが患者会・サロンでは変わらず相談できるのでありがたい。自分は30代で罹患したので、若年層の同じ経験をした仲間と話せる機会があれば尚ありがたいと思っています。

・同じ体験をしている事で、仲間意識があるように感じられるし、言葉も素直に受け入れられる気がする。

・最初、不安があったがおしゃべりをしているうち気が楽になった。体験談を聞いたりできるので、とても役に立つことが多い。共有する友達もできるので、とても話しやすく楽しい場所で、また参加したいと思います。

・体験者だからこそ、心の奥深い所まで分かってもらえる。

- ・患者同志が自分の経験を話しあえることは大変良いことと思う。治療方法等と意見交換も…。明るく話し合うことが一番!!
- ・同じ様な病気を持った人達と話し合ったり顔を会わせることで元気をもらいました。
- ・自分の病気に正面から向かい合っ取り組み、多くの人の経験や話しを聞く事によって、色々学ぶことが出来とても良かったです。
- ・がんという病気はまだまだこわいもので、死とつながっています。だから家族にも全てを話せなかったり、職場でも言いにくかったりするのです。困ること、不安に思うこと、ただ聞いて欲しいことを家族以外に話す場があったことは、本当に助かりました。患者会の勉強会では、いろいろな新しい情報を頂き、仕事復帰への準備ができました。私は患者会もサロンもある病院で治療を受けていることをとても幸運だと思っています。
- ・入院中、口コミで患者会のことは知りました。サロンの方の何げない一言がとても支えになりました。
- ・お世話係の活動には頭が下がります。またよく勉強もなさっていて、お人柄がいいのも感心しています。
- ・自分の気持ちを相手が聞いてくれる。共有してくれたと思う事で、ずいぶんと精神面で落ち着きました。
- ・がんになった経験がない人には話せない事も話せる患者会は素晴らしいと思います。
- ・役に立ったこと・・・辛い気持ちや弱い気持ち、不安な気持ち等マイナスな事ばかり考えているのは自分だけではなかった事に気づいた。
- ・がんと診断された時点で、医師より患者会を紹介していただきすぐ参加しました。とても心が折れていた時に、たいへん勇気づけていただきました。ちょっと元気になり、頑張ろうと思いました。
- ・ガンと診断結果が出た時点で、すぐに患者会に入会しました。とても心細くて、誰かに、すがりたい思いでした。仲間がいるんだと思うと、勇気(?)が出て、情報も聞けて、救われた気持ちになりました。
- ・気分転換ができたことに感謝します。
- ・癌と診断された時冊子を渡され、その中に患者会がありますと書いてありました。不安な所もありましたが勇気を出して利用してよかったと思っています。主治医の先生は休日にもかかわらず患者会に出席していただき、病気や治療以外にも雑談したりエッセイを書いていただいたり楽しみです。ピアサポートは利用しませんでした。主治医の先生、患者会のみなさんに大変感謝しています。
- ・患者会・サロンに参加すると、ひとりじゃないということを感じ、元気づけられます。どんどん参加したいと思います。
- ・脱毛した時、カツラだけでなくタオル帽子を作っていることをサロンにいつて知り、作りました。とても助かりました。サロンのスタッフの方のお話を聞いているだけで、とても安心して帰ってきてます。
- ・私が癌（乳がん）と診断された時は、1クラスに1人位と言った時代でしたので、知っている人の中では、誰もいませんでした。街を歩いていても、私は周りの人達とは違うんだ!!義理の父や母にも、きっと、とんでもない息子の嫁をもらってしまった!!と思われているんだろなあ〜と、申し訳ない気持ちで落ち込んでいました。そんな時に主治医に患者会の事を教えて頂き、勇気を出して参加してみました。参加してみると、39才だった私よりも若い子がいて・・・話を聞いて頂けるお姉様がいて・・・1人じゃないんだとホッとした気分になりました。いろんな話を聞いて・・・まだ生きていられるだけましなんだと思いました。参加して生きがいを感じました。明るい世界が見えてきました。

- ・体験談が聞いて参考になりました。皆の話を聞いて元気をもらいました。
- ・経験者のアドバイスや体験談が役に立ちました。一つの考え方に固執せずにすみしました。
- ・苦しみや悩みを分かち合い、共感しあえ、患者会の皆さんに感謝します。
- ・初めて1回だけ行ったが、すごく雰囲気がよく、リラックスして、雑談が出来ました。スタッフの方の寄り添いの優しさを感じ、又行きたいと思います。胸がスッキリしました。
- ・はじめて患者会に参加させて頂きました。不安を感じサロンへ向いました。皆、患者さん癌では無いように明るく笑い合っていました。胸につかえていた（もやもや）が自分と同じ立場にいる方々とのふれ合いで、少しではありますが、和らいだように思えます。巡り合えてよかったと感謝しております。ありがとうございました。
- ・まだ1度しか参加したことがないのでよくわかりません。今、治療中で、一人で考えふさぎ込んだりしている時もあるので、同じ病気のことを共有し合える友達が欲しいです。
- ・①ガンの人達は毎日心に病気も持っています。心の強い人弱い人とそれぞれの方、居ますけど、顔を見ますと、その人その人の性格にもよりますが、おっかなびっくりの日々を暮しています。
- ②ガンを忘れ、この時間を笑って、夢を前向きに語り合い、希望を、そしてどう痛みとつき合い、どう心のアナを埋め合わせるか、と毎日毎日が闘いなのです。同病相哀れむの心で接して、一歩でも、二歩でも明るい方に、良くなる方にとこの時間を共有していきたいと思っています。
- ・所属している会の方は、「悩みごとがあればいつでもお電話下さい」と電話番号を公開してくださり、困ったりわからない時にはいつでも力になってくださるという安心感、大です……。また、お人柄もとても信頼できる方で日々感謝です。また、具体的悩みなどにはそれに関する経験者につなげてくださり、より確かな情報を得ることもできました。……。仕事でサロンなどには日程があわず参加しづらいので又、プライバシーも守ってくださるという点でも電話での対応または個別に会って相談にのってくださったことは大変ありがたいことでした。
- ・患者会があるおかげで心の支えが来ています。本当に心強いです。だれかと友達にでもなればもっと心強いかもしれませんが、人見知りなので友達は出来てませんが、同年代の会の方がいると知るだけで一人じゃないと思えます。
- ・手術が決まり、わりと早い段階でサロンを訪れました。告知されたことで初めは頭が真っ白になり、怖さや不安でいっぱいでしたが、思いきってサロンを訪れ、自分の思いを話したり、いろんな情報を頂くことで、病気に対して強い気持ちを持って手術、治療に向かう思い、辛い思いをしているのは自分だけではない！と思えることが出来ました。
- 病院の先生や看護師さんだけでなく、がんサロンという存在があることで、いつも自分の気持ちを支えてもらっている！バックアップしてもらっている！という思いを強くしております。
- ・サロンにもっと多くの方が集まって、話し合いたい。
- ・1人で相談する人もなく治療はこれでよいのか行き詰った時に私の思いをきいて下さり、共に涙してこれからの事を一緒に考えてくれました。救世主でした。それ以降、同じ病気の方と話す場（サロン）に行くと気持ちが楽になり助かっています。
- ・術後の生活の仕方、食事、再発予防、その他いろいろ、参考になる事がたくさんありますので、できるだけ患者会には参加するようにしています。同じ病気をした人達との話し合いも楽しく参考になっています。
- ・副作用による脱毛でサロンに行き、自分の現在の心境を話すことが出来た。話を聞いて下さり、有難かった。泣くことが出来た。
- ・病気のことや、治療について、つらかったことや、がんばったことを共有できることで気持ちがとっ

でも楽になることに気付きました。いろいろな情報や対策を得る機会となったこともよかった。患者会やサロンなど、以前はほとんどなかったのが、増えて「いざという時に頼れる場所があることの安心感」が薬になる。とても有り難い。病気や副作用の話は、いくら仲良しの友人でも、体験がなければ当然思うように伝わらないが、「1」言ったら「10」理解してもらえるのが嬉しい。自分だけでなく、皆が頑張っている姿を目にすることが、自分の励みになる。改善点は特に思いつかないが、行事のお知らせ等は早めに知れると助かる。スタッフの方にも、お身体に気をつけて元気で居てほしい。

・突然、悪性のガンだと言われ、半年の間に2度の手術をしました。経過良くいきましたが、やはり3年目に再発しました。その時、立ち寄ったのがサロンでした。初めて会った●●さんに、なぜか？自分のことを話していました。気持ちが落ち着き、又病院へ行った時顔を見て、いろいろ相談したり、足を運ぶのが多くなりました。●●さんは、良いも悪いも、はっきり言って下さり、とても信頼出来る方で、会わなかったら、きっと私は、ここまで強くなれたかなあ？と思います。5月で、サロンには、いなくなると突然話を聞き、これから誰と話をしたらいいのか？すごく不安になり、涙をこらえて話しました。とても残念です。でも教えていただいた事などを大切に、これからも前向きに生きていきたいと思っています。

【患者会についてもっと周知してほしい】

・同じ体験をした方々と話せる場があるのはありがたいです。家族にも友人にも話せないことを話せました。話すことで自分の状況を客観的に見ることができ、的確に判断することも可能になりました。ぜひ、多くの方に利用していただきたいと思いますが、患者会という性質上、閉鎖的な印象で、入ることをためらいがちかと思えます。もっと医師などから利用を促していただくと良いと思います。

・「患者会」があった事はたいへん心強かった。情報が色々とれて良かった。ただ、入院した時に患者会のほうからきてくれて患者会の内容を説明してほしいかった。最初、そういった会があることを知らなかったのだ。

・若年性のがんで、子供が生めない現実をつきつけられ、そこを乗り越えるのに3年かかりました。少子化で養子縁組など、子育て（自分は生めないけれど、子育てしたり支援する方法）について、情報をいただけたらよかったなあ・・・と今、思います。

・医者から勧めてもいいのかと思う。あまり勧めたがらない方もいる。メンタルや副作用に対しての対応の仕方など、いっぱい知りたいことがある。医者は薬で治す方法しか言ってくれない。心で治す方法もあるのではないかと思います。

・病院内掲示やちらしなどで広報して欲しい。参加したい気持ちがあっても中々参加にふみきれない人の為に、上手く広める方法があるといいと思う。また、他病院で治療しても参加できることを知ってほしい。

・もっと気軽に大勢の方々が参加・利用できる雰囲気作りが必要なのではと感じました。

・日曜日の活動が多い「会」には参加できないなど、思ったようにできない場合を考えると、積極的になれない。

・治療中、テレビや本などで、患者会で活動しているガン患者の姿を知って、自分が通院する病院にもその様な患者会が存在し、活発に活動しているもの・・・と思っていたら、古い歴史のある病院にも関わらず、患者会は比較的最近発足・・・と聞いて大変驚いた。今は色々な情報を得ることが可能な世の中だが、現実には地域差がまだまだあるのかなと思った。でも会員たちはピアサポート活動の必要性は強く感じているので、皆、夢への実現に向けて発展途上中。

・私は一番つらい時期を過ぎてから患者会の存在を知り、入会しました。手術や治療前に知っていれば、もっと早く入りたかったと思います。

- ・参加数が少なかったんですが教室探しに戸惑いが多かった。
- ・参加が増えれば良い。もっと病院がPRしてほしい。
- ・地域に同じ病気の体験者の会（患者会）があること、また院内サロンにピアサポーターが待っていてくれることなどをホームページや病院からの情報で知り、実際に入会したりサロンを利用されている方から「サロンにピアサポーターがいる・・・ということだけで、何か困ったときは相談できる場所がある！私の話を聞いてくれる人がいる・・・、そう思うだけで気持ちがとても軽くなるし、希望にもなります！」と伝えていただいたことがあります。患者会やサロンは患者様にとって必要な場所。対応する（傾聴出来る）ピアを増やしていけるような研修の場を具体的に検討していただきたいと考えています。
- ・〈改善してほしい点〉いま目の前にある患者を支え、より添うことはもちろん大事ですが、「がん患者と社会」という視点をもって対外的にアピールしてほしいです。他県の患者会に比べて宮城は遅れています。
- ・参加しにくいという意見を聞いたことがあるので、もっと院内で宣伝したらよいと思う。（気軽に参加できることをアピールするとか…）
- ・各病院で、サロン、ピアサポーターの方の位置付けがあいまいと思います。もっと患者さんが利用しやすいよう、ハード、ソフト面での強化が必要と思います。

【勉強会について】

- ・勉強会は特に役に立っていると思います。また、その機会を作って下さってる先生方やスタッフの皆さんの努力に感謝して居ります。●●病院だから出来る事と思います。お喋りカフェや食事会には、まだ参加して居りませんが、その機会を準備されるスタッフの皆さんの努力にはいつも感心して居ります。いつか、そのスタッフの皆さんがどんな思いで活動しているのか、事務局の方々のお一人お一人のお話を伺ってみたいと思います。
- ・病気について解らない事が沢山あったので、茶話会での医師による勉強会はありがたかった。手術・抗がん剤治療後の体の変化等の勉強会は早く知りたかった。→ 早く対処すればよかったかなという思いがありました。
- ・医師の治療に関する講座を多く聞きたい。
- ・患者たちのフリートークだけでなく、外部からの情報（たとえば、ウィッグ、食事、下着等の会社、化粧品の会社）を聞く機会がほしい。

【治療などの情報について】

- ・現在、再発して治療中です。他の方が再発してどうやって乗り越えたか、治療中はどんな治療していたか、情報がほしいなと思いました。
- ・経験者の話を聞きたい… 情報がほしい。今後どうなるのか不安を感じるので、再発や転移した時どう対処していったのかなど、生活全般について。
- ・終末期を迎えた時の医療機関への関わり方や過ごし方を知りたい。治療した後の関わり方が大病院は雑だと（心の入った接し方ではない）思う。
- ・気分転換ができて聞きたかったことも聞けた。副作用で苦しんでいる人にアドバイスできる人も参加してほしい。
- ・ウィッグ、副作用、脱毛時の帽子提供、各がんの資料、セカンドオピニオン、担当医への質問方法など、いろいろな情報提供をしていただき、とても助かりました。

【医療者について】

- ・もっと病院側、医師、看護師さんたちが連携してサロンを紹介し、患者さんの利用数を上げて欲しいです。
- ・患者会に対して、病院側ももっと応援して欲しいです。
- ・看護師さんたちもっと、サロン、患者会を理解して欲しいです。
- ・先生（医師）と直接会話ができて、いろんな勉強が出来るので嬉しいです。茶話会（カフェ）などでも、先生との対話ができるといいですね。
- ・参加した患者会には主治医やナースと一緒に参加してくれた。人間として触れ合える事でとても信頼感が厚くなった。●●病院の Dr.やナースに感謝している。
- ・知人がいなくて参加しないけど、先生方のお話を聴いてみたいと思います。

【情報誌について】

- ・参加はできなかったが情報誌が届くのがうれしく拝見していました。
- ・サロンの交流会、茶話会に参加できず残念な思いでいます。サロンの皆さんには常に感謝しています。サロンからの会報・患者会だよりをいつも感謝して読ませていただいております。卵巣癌の告知を受け手術をしていただいてから 8 年になります。現在、美容の仕事に復帰しており、サロン会や講演会にはなかなか参加できずしておりますが、会報を送っていただくので、情報をキャッチでき、助かります。●●病院には 7 年で、一応卒業となりましたが、患者会会員としてこのまま入会させていただけると嬉しいです。会報を楽しみに待っています。
- ・患者会・サロンを利用させて頂き、4 年近くになります。患者会の行事には、遠い為参加はしていませんが、郵送でガンについての主治医の先生の情報、体験談など読んで考えさせられるものがあります。ありがたい毎月の便りです。サロンへは、病院に診察に行く日に寄らせて頂き、自分の不安・悩みを聞いてもらい、心が軽くなり、ありがたい場所です。

【個人情報やクレームについて】

- ・がん患者の個人情報に近いことを担当者から聞かされたり、私自身のそれを他の患者さんへ私の前で伝えられて(しかも大きな声で)大変嫌な思いをしました。又病院内の人事について聞かされた事もあります。担当者の研修をしっかりとサポートしてほしい。
- ・医療機関や医師について悪く言う参加者がいて不快に感じた。イベントのお知らせや得意分野の話の毎回され、押し付けがましく感じた。縦る思いで参加をしているのにそのような会は足が遠退きます。
- ・守秘義務とか言ってるので余り勧められない。
- ・ちょっと「？」と思ったことは、自己紹介の時に○○から来た○○です!!と言うのは、田舎のせまい街なので、イニシャルだけを言うとか、あまり、住んでいる所は言いたくないと思いました。
- ・私は術前から参加しました。先生や本、情報で聞いても理解出来なかったことや不安なこと（特に退院後の生活について）も経験者でもある患者会の皆さんから教えていただき、安心して手術に臨むことが出来ました。退院後の注意点も早くに聞いていたので、入院前に準備したり、整え直したり（物の置場など患部に負担のかからないように）と役立ちました。また、術後も、新たに起こる不安も患者会の皆さんとのおしゃべりに心がほぐれます。茶話会等の前にいくつかの留意点をお願いして会が始まるのが常ですが、どうしても、個人的、医療人の不満ばかりを訴える方がいてしまうのが残念。クレームを言う場ではないと更なる周知をお願いしたいです。

【参加しにくい理由】

- ・いつも同じ方の参加が多い。初めて行く時は不安だった。気軽に問い合わせ出来ない。
- ・患者会（勉強会）に一度行ったが、勉強会後に少し患者同志が話しあえるとよいと思った。また、何回か行っている人たちは、知りあいのように、その人たちだけで仲良く話をし、私は、中に入っていける雰囲気ではなかった。参加したいとは思いますが、孤独に感じてなかなか行けない。それは寛解に至った主なメンバーで、自分と同じ状況の人たちがいなく、話が合わなそうな感じだったから。
- ・改善して欲しい点・・・ほとんどの参加者が家庭の主婦なので、独身者も参加できる機会があればいいと思う。
- ・患者会、サロンをいまだ利用した事がない私です。参加したい気持ちはありますが、仕事優先になりおろそかになっていることが現状で、大変申し訳なく思っております。お手紙等を頂くことで励まされ前向きになっております。これからは時間を作り参加したいです。
- ・気軽に立ち寄りたい気持ちはあるけれども病棟の奥にあり、なんとなく躊躇してしまい、もうずいぶん長いこと行っていない。よくしていただいたのに、顔をだしていないので申し訳ない気持ち。
- ・同じ病気になってしまった人には気持ちが分かってもらえるのでとても必要だと思います。でもいつも参加できるとは限らないので、参加が難しい。
- ・身体、心とも強い方々が中心で役員さん達の集まりで励ましてはくれますが、心の奥の心配までは開放できずにいます。メンバーは元気すぎです。あまり新しい人が入らない気がしてます。
- ・時々しか行けない人は、毎回、出席している人だけの会の様に思える時がある。
- ・初めて参加する人も馴染みやすいよう工夫して頂けると、以降の参加につながると思う。以前からのメンバーで固まっていると、気後れすることがある。
- ・患者会、サロンの有用性はその時のテーマ（自分と同じタイプ）とか集まった患者のメンバー次第のところがある。今現在、転院して患者会・主治医・看護師の方々には満足です。

【不安や辛いこと】

- ・患者会に参加するうちに、親しくなった方達が亡くなったりしてショックで、不安な気持ち（自分もいずれ再発？）になりました。
- ・病気を忘れることができなくなって辛い。

【その他の要望・提案】

- ・年に1度ぐらい、同志で何か行事や楽しいことを設けていってもいいのでは。
- ・個人的に話を聞いてほしい方には、個人面談のような方法を取ってはどうかと思う。
- ・病気の年数により、それぞれの患者の悩みも違うので、本音で語り合う事がない。お茶飲みの楽しい会もいいけど、根本的な悩みを言い合い相談できるような会もあればいいと思う。
- ・その患者会にもよりますが、少ない人数なのに1人だけが自分の話をしていることがあり残念。自分が相談したいことや、他の人はどうしているのか聞きたいことなどをメモしていくのですが、その人ばかりが話し過ぎてしまい、1時間30分の中で自己紹介は必要とは思いますが、自分が聞きたいことがあるのに話を切り出せないでいるのでいることが多く、いつも残念に思います。
- ・時間が1時間30分だけでは色々お話しする時間が足りなすぎると思います。名前を覚える時間もない。せっかく集っての会ですので3時間くらいあったら1人1人が自分の悩みや心配事、身体の調子とかを色々話し会えるのに時間が短すぎます。

【その他】

・私が行っているがんサロンは毎週してやっているので、いろいろな方と接し、お話することができる。又、今、在宅で治療している方の家にみんなで伺い、精神面やその方がして欲しいことなどを、微力ながらお手伝いして、自分自身も充実している。

・手術を控えてリンパマッサージの講習を受けたことは、大変役に立ちました。マッサージに集中することで不安を和らげたりすることができました。

・会は明るくてとても良い時間を過ごすことができ、参加するのが楽しみ。

・変えられるもの、変えられないもの・・・、大事な事は後回しのところがあるよね！

・どんなことでも続けていくことが大事だと思います。内容というよりも…「あそこに行くところがある」という親頼感のようなものが大事なのではないかと思います。断酒会のようなイメージが好いのは…。「イベント」屋さんのようなことはたまにはきつとよいと思いますがあきられてしまうのでは…。「上手くいった話」より「こういうことがよくなかった」という「手柄話でない」体験談を聴く方が現実には役にたつのではないのでしょうか？

・現状で満足している。

・同じような会で運動をしまして、先行き会員が伸び悩みなのでサロンなどの運営を参考にしたいと思っております。

・地元の病院にある患者会はとても素晴らしく自慢できます。毎月の開催はバラエティーに富んでいます。(メイクアップ講習会、下着、ヨガ、クリスマス会、お泊り会など・・・) 行政からの経費支援がもう少し充実していたらと思います。[急しい仕事の合間を縫って先生も参加して下さいます。感謝]

・患者会に参加している人が少なくて残念に思います。

・行事、イベントが多過ぎて仕事との両立が難しい。

・以前はサロンには参加して居りましたが、今は孫のスイミングに付き添い、心不全を持つ私も水中ウォーキングに励んでいる為にサロンには出られずにいます。友達とランチすることは出来るので、12月(去年)から夫が透析になり入退院が続き(シャント・心臓の動脈にステントを入れたり・カテーテルの検査)、友達が沢山出来ました。9年前から双極性感情障害で●●病院に6回は入院しています。のみ薬を2年間やめても大丈夫な状態!!になりました。◆◆病院は精神科がなくて●●病院とコンタクトして頂き10回の抗がん剤の治療も出来て感謝しております。